

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO46号

2013年4月21日

日本共産党

新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748



「これからの新潟空港のあり方」

研究報告会に参加

新潟市の行政機関の一部である新潟市都市政策研究所による「これからの新潟空港のあり方」の研究報告会が新潟市会議員を対象に四月十九日に開催され、日本共産党市議団から五十嵐、明戸両議員が参加しました。

都市政策研究所の問題意識は、(1)都市連携をすすめるうえでの空港の重要性(2)東京、大阪などのハブ空港化がすすむなかでの地方空港の生き残り(3)国の空港政策が自由化、民営化の流れ(四月五日に「民営空港運営法案」が閣議決定)の三点のこと。

新潟空港の旅客数は2002年の126万人をピークに2010年は94万人まで落ち込んで、秋田空港(110万人)、富山空港(95万人)の利用者よりも少なくなっています。

都市政策研究所は、「今後の戦略課題」として、「都市連携による商圏拡大」「マールチキヤリア(格安航空会社)の誘致」な

などをあげました。

市民のくらしの施策と

産業政策を

しっかりとつとめて

しかし、これらの対策はこれまでも県などで取り組まれてきたものです。

小手先のやり方でなく、市民と県民のくらし向上の施策をとり、産業政策もしっかり持って推進してこそ新潟空港の利用がすすむのではないかと感じました。

議員団日誌(4月22日~28日)

25日(木) 教育・いじめ問題で
教育長と懇談

26日(金) 北区・東区公共交通
勉強会